



環境研究総合推進費
Environment Research and Technology Development Fund

環境研究総合推進費の概要及び 令和9年度新規課題公募 応募に向けた申請書の注意点



独立行政法人 環境再生保全機構
Environmental Restoration and Conservation Agency

環境研究総合推進部 研究推進課

①環境研究総合推進費の概要（重要事項のみ）

②申請書作成における事務的なポイント

推進費の概要についての詳細な説明は、第1回公募説明会の動画をご覧ください。

https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/r09_koubo_3.html

機構ホーム > 環境研究総合推進費 > 公募情報 > 公募説明会（令和9年度）

公募説明会（令和9年度）

令和9年度新規課題の公募説明会を開催します

【対象者】

- ・環境問題に係る研究を行う、または関係する機関・個人
- ・大学・研究機関や企業で研究活動の企画・実施に携わる方

▶ [公募情報動画](#)

第1回公募説明会

- ▶ 推進戦略の概要と重点課題、推進費公募で提示する行政要請研究テーマ（行政ニーズ）の概要について（環境省 環境研究技術室） [🔗](#)
- ▶ [環境研究総合推進費及び令和9年度新規課題公募の概要について（ERCA）](#) [🔗](#)
- ▶ [環境研究総合推進費の応募に向けて（プログラムオフィサー）](#) [🔗](#)

環境研究総合推進費の目的及び特徴

環境研究総合推進費は環境省所管の競争的研究費（配分業務等はERCA）

目的

研究開発により**環境政策の推進に寄与**

気候変動問題への対応、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全確保など、持続可能な社会の実現に向けた**環境政策の推進**にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発の促進

特徴

環境政策貢献型の競争的研究費

- ▶ 「**環境研究・環境技術開発の推進戦略**」（令和6年8月環境大臣決定）に掲げられた**重点課題への貢献**が基本
- ▶ 環境省各部局の研究開発ニーズを踏まえ策定する研究テーマを提示し公募
- ▶ 研究の進捗フォロー（ERCAプログラムオフィサーやアドバイザーの支援）

重点課題（必須項目）と行政要請研究テーマ（任意項目）

環境
基本法

第六次環境基本計画（令和6年5月21日閣議決定）

科学技術
基本法

第6期科学技術・イノベーション基本計画

環境研究・環境技術開発の推進戦略（令和6年8月環境大臣決定（以下「推進戦略」））

中長期（～2050年頃）に目指すべき社会像を提示

- (1) 全般（統合）：環境を軸とした環境・経済・社会の統合的向上による「ウェルビーイング／高い生活の質」、ネット・ゼロ、循環経済、ネイチャーポジティブ等の統合的な実現
- (2) 気候変動：行動の加速、科学に沿った **2050年ネット・ゼロの達成**
- (3) 資源循環：**ライフサイクル全体での徹底的な資源循環の達成による循環型社会形成に向けた循環経済への移行**
- (4) 自然共生：**「ネイチャーポジティブ」の実現により、生物多様性が評価・保全・回復・賢明に利用され、生態系サービスが維持され、「自然と共生する社会」が実現**
- (5) 安全確保：顕在・潜在リスクを含めた**生命環境への脅威の可能性を包括的かつ未然に防止し、活力ある社会が実現**

重点課題（必須選択）

今後5年程度で重点的に取り組むべき研究・技術開発課題を設定

- ▶ 「統合」、「気候変動」、「資源循環」、「自然共生」、「安全確保」の **5つの領域に16の重点課題**を設定
- ▶ 重点課題は、以下の2軸から設定
 - 科学的知見に基づく政策決定や統合的な課題解決の基盤となる研究・開発等の推進
 - 「新たな成長」を支える最先端の**環境技術等の開発・実証と社会実装**の推進

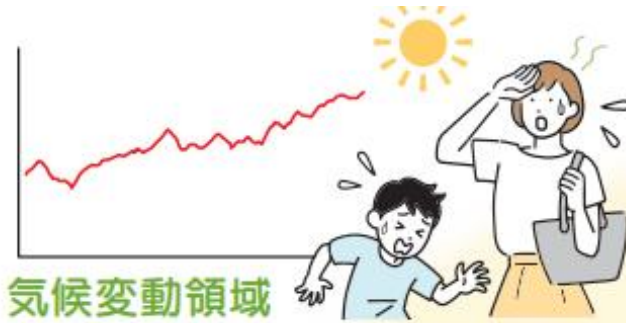
行政要請研究テーマ（任意選択）

- ▶ 公募に際して環境省が提示する、短期的・集中的に取り組むべき環境研究・技術開発のテーマ **「行政要請研究テーマ」も重視**した研究開発を推進

※重点課題は5年間程度同一であることが見込まれていますが、行政要請研究テーマ（行政ニーズ）は毎年設定されます。

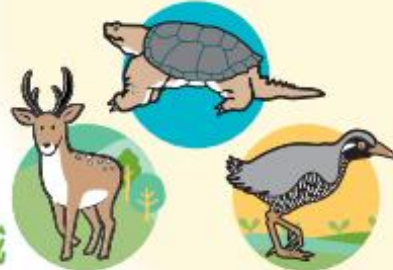
環境研究総合推進費の研究対象領域

環境政策へ
直接貢献！！



気候変動領域

フロン類排出量の削減技術、エネルギーシステムの移行に関する環境・経済・社会的受容性の向上、適応策と他の政策とのコベネフィットの評価、気候変動の自然災害への影響、熱中症対策、気候変動に関わる物質の地球規模での循環の解明…等に関する研究・技術開発



自然共生領域

リモートセンシング、環境DNA解析等の新技術を活用した情報集積、鳥獣の革新的な捕獲・処理・モニタリング技術、人間の福利との関係を含む生態系サービスの解明と地域の合意形成支援ツールの開発…等に関する研究・技術開発



統合領域

ライフスタイルのイノベーションの創出、環境・経済・社会を統合的に解決するローカルSDGsの実現（地域循環共生圏）、ネットゼロ・循環経済・ネイチャーポジティブを統合的に達成していく経路の提示及び実現、災害廃棄物の再生利用率の向上、気候変動・生物多様性・汚染（海洋プラスチック汚染を含む）等の環境問題とポストSDGs等を見据えた経済社会問題とのシナジーとトレードオフの課題…等に関する研究・技術開発



資源循環領域

地域循環共生圏を見据えたバイオマス等の資源からの効率的な資源やエネルギー回収・利用技術、再生プラスチックの利用拡大を可能とする解体・破碎・選別技術、循環経済への移行の進展状況の把握に資する指標開発・データ整備…等に関する研究・技術開発



安全確保領域

化学物質等の複合的なリスクによる生態・健康影響の評価・解明、越境汚染を含む大気汚染現象の解明及び気候変動との相互影響評価、花粉症等の健康影響、PFASに関する環境監視測定に資する精度管理方法の確立と標準化及びリスク評価や対策技術…等に関する研究・技術開発

環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を実施。

※エネルギー起源CO₂の排出抑制を主たる目的とした技術開発は公募対象外。

令和9年度新規課題公募 公募区分

公募区分		研究開発費の支援規模 (※1)	研究期間 (※2)	委託費・補助金
環境問題対応型研究（一般課題）		4,000 万円以内／年	3年以内	委託費
環境問題対応型研究（技術実証型）		4,000 万円以内／年	3年以内	委託費
環境問題対応型研究（ミディアムファンディング枠）		2,000 万円以内／年	3年以内	委託費
次世代事業（補助率1/2） ア．「技術開発実証・実用化事業」 イ．「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」		ア． 1億円以内／年 イ． 2億円以内／年	3年以内	補助金
革新型研究開発（若手枠A）		600万円以内／年	3年以内	委託費
革新型研究開発（若手枠B）		300万円以内／年	3年以内	委託費
戦略的研究開発				
	戦略的研究開発（Ⅰ）	3億円以内／年	5年以内	委託費
	戦略的研究開発（Ⅱ）	1億円以内／年	3年以内	

※ 1 間接経費（30%）、消費税を含む1年間の上限額。 ※ 2 研究期間は1年単位で申請が可能です（但し、戦略的研究開発を除く）。

審査の観点について

それぞれの具体的な審査観点は以下のとおりです。

①必要性（環境行政上の意義、科学的・技術的意義）

- 環境省の政策課題等を踏まえ、研究の環境行政上の意義等が適切に記載されているか。なぜ今必要な研究なのかをバックキャストで記載できているか。
- 先行研究・類似研究をリサーチできているか。提案する研究に新規性・独創性はあるか。

②有効性（目標の妥当性、目標の達成可能性、環境政策への貢献度、成果の波及効果）

- 目標設定は適切か。研究目標の達成見込みは高いか。
- 研究成果が今後の環境政策にどのように貢献できるか。（環境問題対応型「技術実証型」研究については、社会実装後に社会的・経済的にどのような効果をもたらすことができるのか）が適切に記載されているか。

③効率性（研究体制・研究計画・研究経費の妥当性）

- 研究体制は、研究計画を効率的・効果的に遂行するために適切か。
- 研究者の実績・適性は十分か。エフォート（研究の専従率）は低すぎることなく妥当か。
- 位置付けが不明確なサブテーマが含まれていないか。
- 研究計画に対して、過剰な経費積算をしていないか。

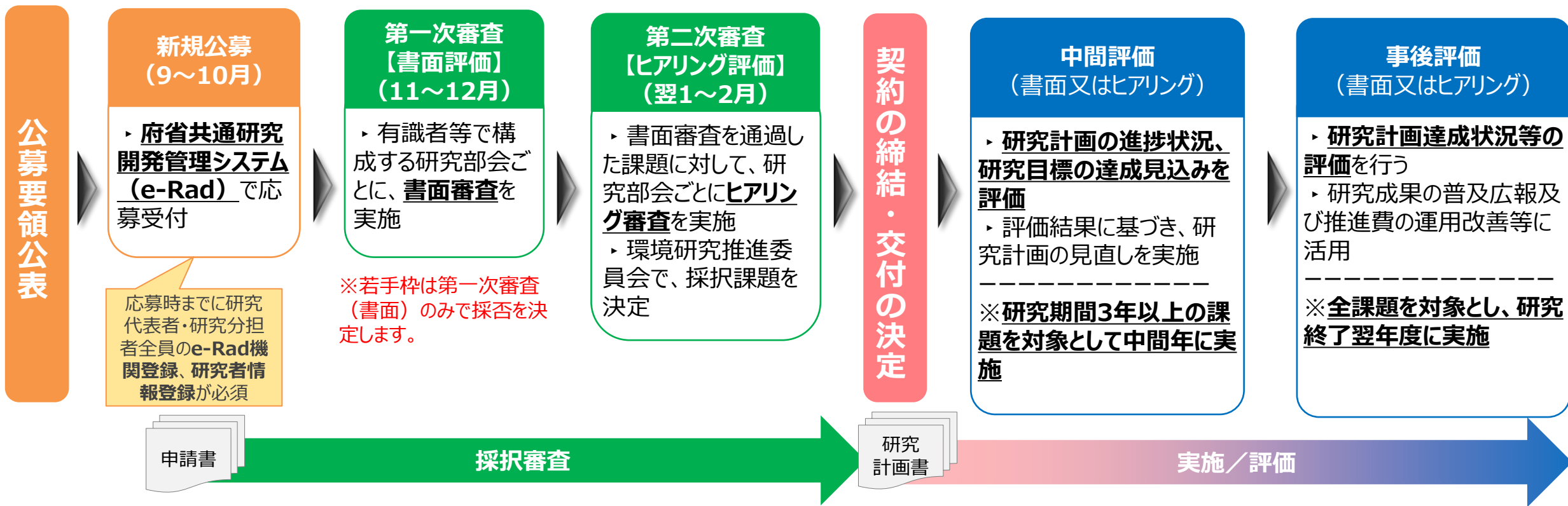
審査の観点については公募要領p.17もご参照ください

推進費の性質

研究計画に基づいて研究を実施していただきます。

- ◆ 応募時にご提出いただいた申請書をもとに採択審査を行い、採択課題を決定します。
- ◆ 申請書をもとに研究計画書を作成し、委託研究契約の締結・補助金の交付の決定を行います。
- ◆ 研究計画書に基づいて研究を実施していただき、中間・事後評価を実施します。

【応募～採択・契約～評価の流れ】



①環境研究総合推進費の概要（重要事項のみ）

②申請書作成における事務的なポイント

応募にあたっての注意事項

公募期間：9月7日（月）10:00～10月9日（金）10:00【厳守】

遅延がERCAにおける事情に起因しない場合は、いかなる理由であっても締切後の応募は受け付けません。

提出後は再提出を含め再替えを行うことはできません。

申請書の作成に当たっては、各項目に記載されている記入要領（青字）を必ず確認の上、作成してください。記入要領に従っていない場合は、審査に支障を来すことがあります。

プレ審査不通過となる主な例（公募要領p.15より）

ア. 公募要領p.4に示した研究領域のいずれにも該当しない場合

イ. 当該研究により見込まれる環境政策への貢献について記されていない場合

（主な例）

環境政策への貢献を目的としたものではないと判断される場合

ウ. エネルギー起源CO₂の排出抑制を主たる目的とした技術開発であると考えられる場合

エ. エネルギーとしての利用に関する原子力にかかる技術(安全にかかる技術を除く。)を取り扱う研究開発であると考えられる場合

オ. 環境省の他の予算事業の対象であると考えられる場合

応募にあたっての注意事項

プレ審査不通過となる主な例（公募要領p.15より）（前頁つづき）

カ. 公募区分の主旨に適合しない場合、研究代表者・研究分担者が応募要件を満たさない場合

（主な例）

- ・使用している申請書様式と、選択している公募区分が不一致
- ・研究経費の上限額を超過している
- ・研究代表者・研究分担者が応募要件を満たしていない（公募要領 委託費：p.44～45／補助金：p.55～56）

キ. 応募書類の不備（様式の改編や様式誤り、記入漏れ等）等により、資格・要件チェックや研究計画の評価に支障がある場合

- ・申請書に未記入がある場合や様式が改編されている場合
 - － 項目の追加・削除、研究期間内の年度に係る記述の不測や当該年度の行・表が削除されている
 - － （別添）課題情報・経費積算シート.xlsxのファイルが未提出、ファイル・シート構成やシート名が変更されている

ク. 応募内容の照会に対して、期日までに回答がない場合、回答が不十分な場合

- ・申請内容の（e-Radの登録内容と相違や応募者の要件の確認等）に対する回答が期日までにない場合や回答が不十分（未回答等へのリマンドは行いません）

申請書記入項目 課題情報 記入のポイント

[共通] 課題情報 (令和9年度新規課題公募)		e-Radの課題番号	
黄色いセルは必須入力/選択項目です。			
研究課題名	必須		
重点課題 (主)	必須	【選択してください】	
(副)	任意	【選択してください】	
研究領域	必須	※重点課題「主」から自動で選択されます。	
行政要請研究テーマ (行政ニーズ) ※2つまで選択可能です	任意		
	任意		
研究期間	必須	2027年4月1日 ~	【選択してください】 (#N/A年間)
申請区分	必須	【選択してください】	
研究代表者氏名	必須	(フリガナ)	
	必須	(漢字等)	
所属研究機関	必須		
部局	必須		
職名	必須		
研究キーワード(5つ)	必須		

ポイント

- 黄色のセルは必須項目です。
- 重点課題（主）で選択した重点課題に紐づく研究領域が自動で選択されます。
- 行政要請研究テーマは必須ではありません。選択した重点課題（主、副）に対応する行政要請研究テーマ以外は選択できません。
→非対応を選択した場合は、評価委員にその旨を申し送りをします。
- 申請区分で選択した公募区分と、本ページの冒頭の公募区分が一致しているか、再度確認してください。
- 研究代表者名は、e-Radに登録されている表記と一致させてください。
- 所属研究機関は以下のルールに沿って記入してください。

主な種別 [Ⓔ]	記載例 [Ⓔ]
大学、国立大学校、国立高等専門学校 [Ⓔ]	〇〇大学、〇〇高等専門学校 ※法人形態部分除く [Ⓔ]
独立行政法人、大学共同利用機関法人 [Ⓔ]	〇〇機構、〇〇研究所 [Ⓔ]
試験研究機関 [Ⓔ]	〇〇庁〇〇研究所、〇〇立〇〇センター [Ⓔ]
民間団体 [Ⓔ]	〇〇株式会社、特定非営利活動法人〇〇 [Ⓔ]
公私立高等専門学校・専修学校 [Ⓔ]	〇〇立〇〇学院、私立〇〇専門学校 [Ⓔ]

- 研究キーワードは、課題名に含まれていない語句を必ず5つ、和文で記入してください。

(別添) 課題情報・経費積算シート.xlsx

申請書記入項目

課題情報

プレ審査で不通過となる事項

一令和 9(2027) 年度 環境研究総合推進費申請書

【委託費（環境問題対応型研究（一般課題・ミディアムファンディング枠））】

研究課題名	必須	
重点課題（主）	必須	【選択してください】
（副）	任意	【選択してください】
研究領域		※重点課題「主」から自動で選択されます。
行政要請研究テーマ（行政ニーズ）※2つまで選択可能です	任意	
研究期間	必須	2027年1月1日～2028年3月31日【選択してください】（#N/A年間）
申請区分	必須	環境問題対応型研究（一般課題）
研究代表者氏名	必須	（フリガナ）
	必須	（漢字等）
所属研究機関	必須	
部局	必須	
職名	必須	
研究キーワード（5つ）	必須	

重要

以下の場合はプレ審査不通過となります。

① 応募様式・選択した申請区分・e-Radの公募区分の3点のが一致していない場合

② 必須項目が未入力の場合

③ （別添）課題情報・経費積算シート.xlsxの課題情報シートから、貼り付け後の表示に誤りがある場合（必ず【貼り付け方法】に従って貼り付けてください）

公開中の公募一覧

・公募情報の詳細は、「公募名」のリンクをクリックしてください。

・応募する場合は、「応募する」ボタンをクリックしてください。

検索結果のダウンロード

1～5件（全5件）

公募年度	配分機関	公募名	応募単位	機関の承認の要否	締切日時	機関内締切日時	応募
2027	独立行政法人環境再生保全機構	環境研究総合推進費・委託費【問題対応型】[NEW]	研究者単位	不要	2026/10/09 10時00分		応募する >
2027	独立行政法人環境再生保全機構	環境研究総合推進費・委託費【戦略的研究(Ⅰ)】[NEW]	研究者単位	不要	2026/10/09 10時00分		応募する >
2027	独立行政法人環境再生保全機構	環境研究総合推進費・委託費【戦略的研究(Ⅱ)】	研究者単位	不要	2026/10/09 10時00分		応募する >

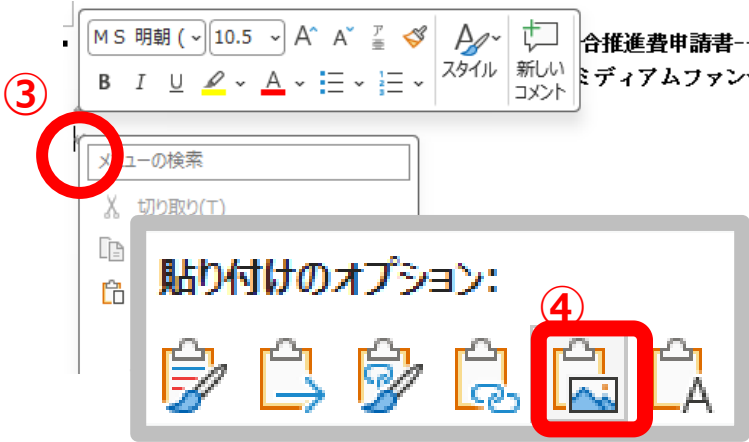
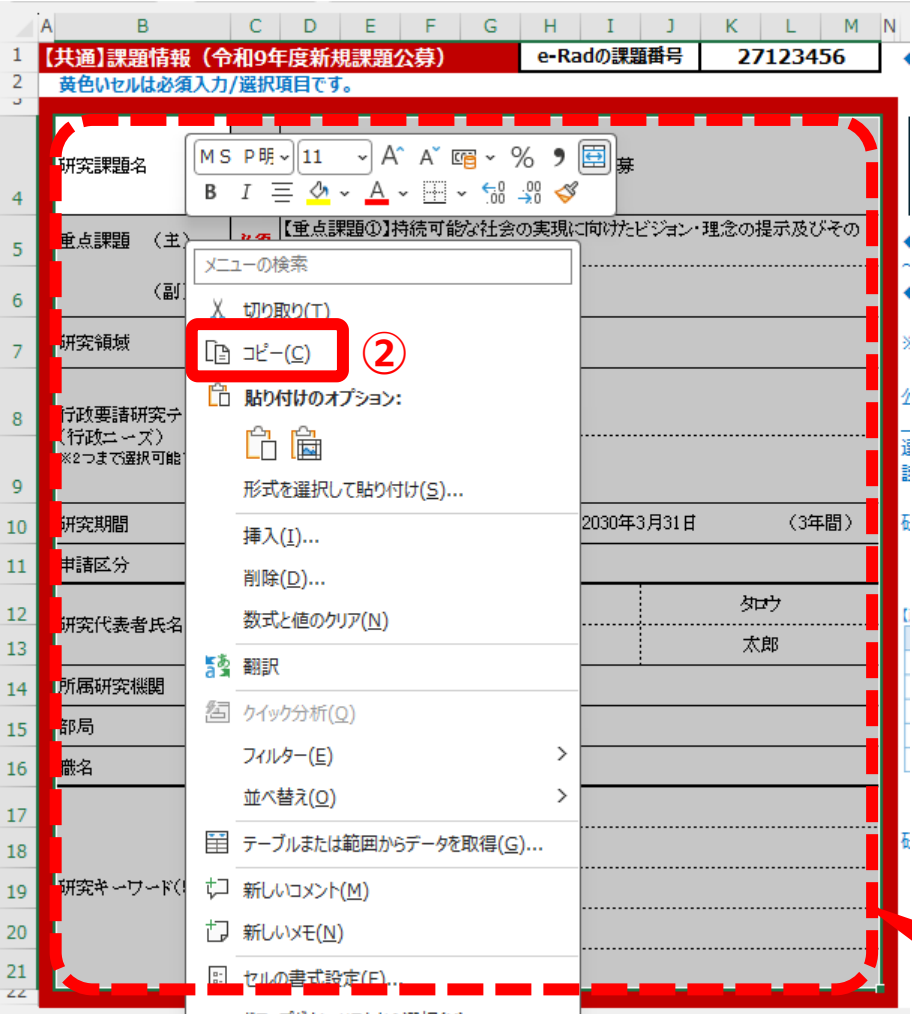
e-Rad「公開中の公募一覧」画面

e-Radの公募名	応募されるを公募区分
環境研究総合推進費・委託費【問題対応型】	環境問題対応型研究（一般課題・技術実証型・ミディアムファンディング枠）
環境研究総合推進費・補助金【次世代事業】	次世代事業
環境研究総合推進費・委託費【革新型】	革新型研究開発（若手枠A・若手枠B）
環境研究総合推進費・委託費【戦略的研究(Ⅰ)】	戦略的研究開発（Ⅰ）（S-26）
環境研究総合推進費・委託費【戦略的研究(Ⅱ)】	戦略的研究開発（Ⅱ）（SⅡ-14）

申請書記入項目 課題情報 【貼り付け方法】の詳しい手順

(別添) 課題情報・経費積算シート.xlsxから、申請書様式へ以下の手順で貼り付けてください。

- ①赤枠内を選択する
- ②コピーをクリック (Ctrl+Cでも可)
- ③申請書様式の貼り付け場所をアクティブにして右クリックする
- ④貼り付けオプションから「図」を選択する
- ⑤図として貼り付けられていることを確認する



令和9(2027)年度環境研究総合推進費申請書
【委託費(環境問題対応型研究 一般課題・ミディアムファンディング枠)】

研究課題名	必須	環境研究総合推進費令和9年度新規課題公募		
重点課題 (主)	必須	【重点課題①】持続可能な社会の実現に向けたビジョン・理念の提示及びその実現		
(副)	任意	【選択してください】		
研究領域	必須	統合		
行政要請研究テーマ (行政ニーズ)	任意	※2つまで選択可能です		
研究期間	必須	2027年4月1日 ~ 2030年3月31日 (3年間)		
申請区分	必須	環境問題対応型研究(一般課題)		
研究代表者氏名	必須	(フリガナ)	カンキョウ	タロウ
	必須	(漢字等)	環境	太郎
所属研究機関	必須	環境再生保全機構		
部局	必須	環境研究総合推進部		
職名	必須	研究者		
	必須	統合		
	必須	気候変動		
研究キーワード(5つ)	必須	資源循環		
	必須	自然共生		
	必須	安全確保		

⚠ 項目名の貼り付け忘れに注意

①選択

【表示の環境】

パソコン : Windows 11 / Office : Microsoft 365

※画面表示や操作方法は、ご利用のOS・Officeのバージョンによって異なる場合があります。

研究体制 サブテーマ●		サブテーマ名：○○○○			
担当	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部局 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	2027 年度 直接経費 （千円）	エフオ ート率 （%）
サブ テーマ リーダー	○○ ○○（55） 研究者番号： 12341234	○○大学 大学院○○研究科 ○ ○専攻 准教授	環境工学 博士（工学）(XXXX 年○月 ○○大学大 学院修了) 研究代表者、研究総 括	○○○○ （直接経 費）	1～ 100%
	研究 分担者	○○ ○○（50） 研究者番号： 12341235	 (年 月)		

！ 重要

以下の場合はプレ審査不通過となります。

① 研究代表者及び研究分担者のいずれか一人でも応募要件を満たさない場合

② サブテーマを分割している場合

💡 ポイント

- 【要件③】は、産前産後休業・育児休業の期間は除いて計算が可能です。備考欄に当該期間を記入してください。
- 移籍予定、採択後に雇用予定の参画者については、備考欄に記入をしてください。
- e-Radに登録されている情報と不一致の場合は、プレ審査において確認を行います。



【重要】応募要件

公募要領委託費はp.44、補助金はp.55参照

研究代表者及び研究分担者は、予定されている研究期間について所属研究機関が雇用の責任を負うことが保証されている必要があります。

【要件①】
日本国内において、原則として環境に関する研究を実施する能力のある機関に所属している研究者であること（国籍は問わない）。
ただし、常勤・非常勤を問わず、予定される研究期間（例えば、研究期間3年間の研究提案であれば3年間）について所属研究機関が雇用の責任を負うことが保証されていること。

【要件②】
提案した研究計画を適切に実施する能力を有するとともに、日本語による面接に対応できる程度の語学力を有すること。

【要件③】（若手枠のみ）
研究代表者及び研究分担者の全員が、研究開始年度の4月1日時点で40歳未満または博士の学位取得後8年未満であること（産休・育休期間を除く）。

💡 ポイント

- 令和9年度新規課題公募より構成を変更しました。
- 採択審査において、重点を置いて評価される項目となります。1ページで明確に記載をしてください。

構成の変更は以下の通りです。

環境問題対応型研究 次世代事業 戦略的研究開発	革新型研究開発（若手枠）	従前
1. 研究概要 2. 環境研究としての貢献（重点項目） 環境政策等への貢献、環境産業等への活用（アウトカム） 3. 研究目的等 （1）研究の背景 （2）研究の目的 （3）研究の新規性・独創性等 ①国内外の既往研究のレビュー ②研究の新規性・独創性 （4）特記事項1 （5）特記事項2	1. 研究概要 2. 環境研究としての貢献（重点項目） 研究の新規性・独創性等 ①国内外の既往研究のレビュー ②研究の新規性・独創性 3. 研究目的等 （1）研究の背景 （2）研究の目的 （3）環境政策等への貢献、環境産業等への活用（アウトカム） （4）特記事項1 （5）特記事項2	1. 研究概要 2. 環境研究としての貢献（重点項目） 3. 研究目的等 （1）研究の背景 （2）研究の目的 （3）研究の新規性・独創性等 ①国内外の既往研究のレビュー ②研究の新規性・独創性 （4）環境政策等への貢献、環境産業等への活用（アウトカム） （5）特記事項1 （6）特記事項2

💡 ポイント

- 令和9年度新規課題公募より構成を変更しました。
- 採択審査において、重点を置いて評価される項目となります。1ページで明確に記載をしてください。

環境問題対応型研究、次世代事業、戦略的研究開発（Ⅰ）（Ⅱ）※令和8年度新規課題公募 2.研究目的等（4）

本研究提案における、環境政策等への貢献、環境産業等への活用（アウトカム）について、A4用紙（縦）1枚で明確に記入すること。

記入の観点	一般課題・MF枠	技術実証型・次世代事業	戦略的研究開発
選択した重点課題に対して、本研究によって見込まれる環境政策等への貢献	必須	必須	必須
行政要請研究テーマ（行政ニーズ）への貢献	必須 (行政要請研究テーマを選択している場合)	必須 (行政要請研究テーマを選択している場合)	－
本研究成果を環境産業等に活用する予定や見通し等	任意	任意	任意
開発する技術の実施主体や利用・導入主体の想定 実用化・事業化の見通し、環境・社会・経済への影響及び波及効果	－	必須	－

 ポイント

- ・ **令和9年度新規課題公募より構成を変更しました。**
- ・ 採択審査において、重点を置いて評価される項目となります。**1ページで明確に記載**をしてください。

革新型研究開発（若手枠） ※令和8年度新規課題公募 2.研究目的等（3）

本研究提案における、国内外の既往研究のレビュー又は既存・競合技術、類似研究等の概要に基づき、本研究提案の環境研究としての新規性や独創的な点（先行業績や知見と比較しての強み等）について、A4用紙（縦）1枚で明確に記入すること。

① 国内外の既往研究のレビュー又は既存・競合技術、類似研究等の概要

＜記入の観点＞

- ・研究提案に関連する国内外の既往研究のレビュー又は既存・競合技術、類似研究等の概要、出典

② 研究の新規性・独創性

＜記入の観点＞

- ・①に基づいた研究提案の環境研究としての新規性や独創的な点（先行業績や知見と比較しての強み等）

 重要

以下の場合にはプレ審査不通過となります。

- ①及び②を一つにまとめて記入している場合（応募様式の改変とみなします）

申請書記入項目 5. 研究内容

(例) 研究期間 : 3年間

研究計画の有無

	2027	2028	2029
ST1	あり	あり	なし
ST2	なし	あり	あり

! 重要

以下の場合プレ審査不通過となります。

研究計画がない年度の行を削除している場合

サブテーマ 1	サブテーマ名 : ○○○○○○
令和 9 年度 (2027 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。
令和 10 年度 (2028 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。
サブテーマ 2	サブテーマ名 : △△△△△
令和 10 年度 (2028 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。
令和 11 年度 (2029 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。

○正しい記入方法

サブテーマ 1	サブテーマ名 : ○○○○○○
令和 9 年度 (2027 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。
令和 10 年度 (2028 年度)	
令和 11 年度 (2029 年度)	(研究計画) 記載事項なし
サブテーマ 2	サブテーマ名 : △△△△△
令和 9 年度 (2027 年度)	(研究計画) 記載事項なし
令和 10 年度 (2028 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。
令和 11 年度 (2029 年度)	(研究計画) ~~~~~を行う。

研究計画のない年度は
行を削除せず「記載事項なし」と記入する

申請書記入項目 6. 各年度別経費

(1) 課題全体の各年度別経費 (2) 各年度別経費 (3) 各年度別経費の内訳

環境問題対応型（一般課題・ミディウムファンディング枠・技術実証型）、革新型研究開発（若手枠A・若手枠B）用
黄色いセルは必須入力/選択項目です（0円の場合は、「0」と入力してください）。セルの高さは自動で調整されます。

サブテーマ1 【00/A年度課題です】 (単位:千円)

サブテーマ名: _____

研究機関: _____

経費区分	2027年度			2028年度			2029年度		
	小計	金額	主な積算内訳	小計	金額	主な積算内訳	小計	金額	主な積算内訳
①物品費	0			0			0		
設備備品費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
消耗品費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
②人件費・謝金	0			0			0		
人件費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
謝金	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
③旅費	0			0			0		
旅費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
④その他	0			0			0		
外注費 ^(*)	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
印刷製本費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
会議費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
通信運搬費	0			0			0		
※「他」の内訳の 説明は必要									
光熱水料	0			0			0		
その他(諸経費)	0			0			0		
消費税相当額	0			0			0		
(1)直接経費計 (①～④合計)	0			0			0		
(2)間接経費 (原則、直接経費の30%)	0			0			0		
サブテーマ1合計 (直接経費+間接経費)	0			0			0		

(*) 外注費: 研究代表機関又は研究分担機関が行うべき本質的な業務は不可。なお、原則、各サブテーマにおける研究機関ごとに、直接経費の1/2までとする。
(**) 間接経費率が30%ではない場合の説明 (記入例) ●●大学:○%、●●機構:○%:

💡 ポイント

- 各経費区分について、支出金額の大きいもの・主要なものから記入をしてください。
記入欄を超える支出がある場合は、「他」にまとめてください。
- 外注費は、原則 **各サブテーマにおける研究機関ごとに、直接経費の1/2まで**とします。また、研究の本質的な業務はできません。
- 間接経費は30%で自動計算されます。比率が変わる場合は金額を直接入力してください。なお、その場合には理由が必要です。

(1)直接経費計 (①～④合計)	20,000	金額を直接入力	0		0	
(2)間接経費 (原則、直接経費の30%)	5,000	間接経費率:25%	0		0	
サブテーマ1合計 (直接経費+間接経費)	25,000		0		0	

(*) 外注費: 研究代表機関又は研究分担機関が行うべき本質的な業務は不可。なお、原則、各サブテーマにおける研究機関ごとに、直接経費の1/2までとする。
(**) 間接経費率が30%ではない場合の説明 (記入例) ●●大学:○%、●●機構:○%:

理由を入力

❗ 重要

- 研究経費の上限額を超過している場合は、プレ審査不通過になります。**
- (1) 課題全体の各年度別経費 (2) 各年度別経費 (3) 各年度別経費の内訳の **金額が異なっている場合は、最も低い金額を要望額として審査を行います。**
- (3) 各年度別経費の内訳を修正したら、(1) 課題全体の各年度別経費 (2) 各年度別経費の貼り付け直しを忘れないよう十分ご注意ください。

環境問題対応型研究（一般課題・技術実証型）

公募要領p.6参照

（5）期待する予算規模（年間支援額3,500万円（最終年度3,400万円））を超過する理由

- 年間の研究開発費について期待する予算規模を超える場合は、その理由（根拠となる研究目標・計画、経費の利用目的等）について記載してください。
- 複数年にわたり気買する予算規模を超過する場合は、年度ごとに記載してください。
- **超過理由が示されていない場合には、予算規模は3,500万円（最終年度3,400万円）として採択審査を行います。**

次世代事業

公募要領p.6参照

（5）自己負担額（申請経費の1/2）の財源の予定・見込み

- 自己負担額の財源の予定・見込みについて記載してください。
- **記載がない場合は、プレ審査不通過となります。**

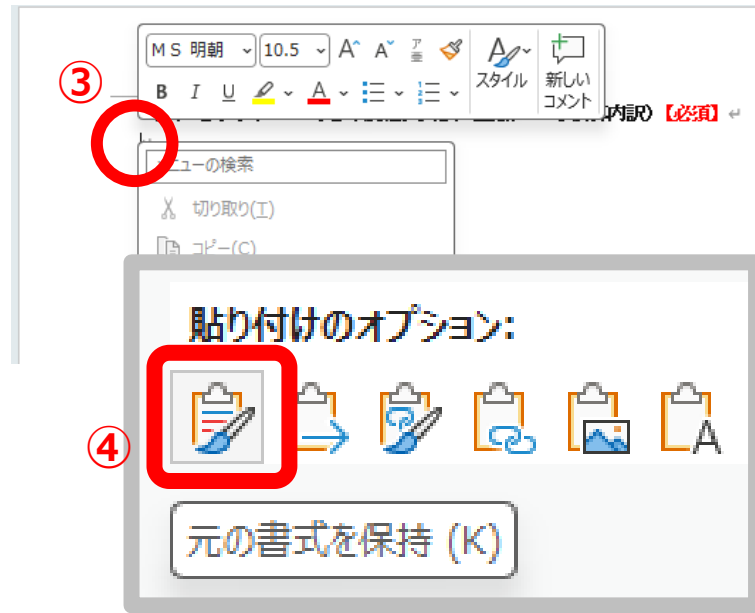
申請書記入項目 6. 各年度別経費 【貼り付け方法】の詳しい手順

(3) 各年度別経費の内訳は、申請書様式へ以下の手順で貼り付けてください。

- ①赤枠内を選択する
- ②コピーをクリック (Ctrl+Cでも可)



- ③申請書様式の貼り付け場所をアクティブにして右クリックする
- ④貼り付けオプションから「元の書式を保持」を選択する



- ⑤元の諸書式を保持して貼り付けられていることを確認する
- ※複数ページにわたって貼り付けられ、Word上での編集が可能です。

(3) 各サブテーマの各年度経費内訳 (金額・主な積算内訳) 【必須】

サブテーマ名: XXXXXXXXXX研究機関: ○○大学、●●研究所

経費区分	2021 年度		2022 年度		2023 年度	
	小計	金額・主な積算内訳	小計	金額・主な積算内訳	小計	金額・主な積算内訳
①物品費	4,600		2,600		1,300	
設備備品費	2,500	1,500 サーマルサイクラ	500	500 分光光度計	0	0
※(他)の内訳の記載は任意	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,100	1,000 解析用試薬	2,100	1,000 解析用試薬	1,300	800 解析用試薬
※(他)の内訳の記載は任意	0	0	0	0	0	0
②人件費・賃金	13,200		13,440		13,440	
人件費	13,200	6,000 博士研究員 1 名	13,240	6,000 博士研究員 1 名	6,000	博士研究員 1 名
※(他)の内訳の記載は任意	0	0	0	0	0	0
謝金	200	200 アドバイザー 3 名	200	100 アドバイザー 3 名	200	100 アドバイザー 3 名

その他(諸経費)	1,420	1,000 論文投稿費(500 千円×2)	1,420	1,000 論文投稿費(500 千円×2)	1,220	800 恒温室 100 千円×8 か月
※(他)の内訳の記載は任意	0	0	0	0	0	0
消費税込当額	10	10	10	10	10	10
(1) 直接経費計 (①～④合計)	22,340		21,330		19,500	
(2) 間接経費 (①～④合計の30%)	6,702		6,399		5,850	
サブテーマ 1 合計 (①～④合計+間接経費)	29,042		27,729		25,350	

【表示の環境】

パソコン : Windows 11 / Office : Microsoft 365

※画面表示や操作方法は、ご利用のOS・Officeのバージョンによって異なる場合があります。

①選択

8.研究費の応募・受入等の状況及び本応募課題との相違点について

研究代表者名					〇〇 〇〇 (サブテーマ)
配分機関名				公募名	
事業名・公募区分等 (研究期間)				研究開発課題名	
役割分担 *代表・分担の別	2027年度の 直接経費(千円) (研究期間全体の額) *当該研究者への配 分額のみ	2027年度の エフォート (%)	応募中課題の 結果判明予定 時期	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由	
【応募中の研究費】					
(本応募課題) 独立行政法人環境再生保全機構				環境研究総合推進費・委託費【問題対応型】	
環境研究総合推進費 (2027年～20**年)				研究開発課題名	
研究代表者	****千円 (****千円)	****%	2027年3月	-	
配分機関名				公募名	
事業名・公募区分等 (研究期間)				研究開発課題名	
研究代表者/研究 分担者	****千円 (****千円)	****%	****年*月	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由	
【事業実施中および受入予定の研究費】					
配分機関名				公募名	
事業名・公募区分等 (研究期間)				研究開発課題名	
研究代表者/研究 分担者	****千円 (****千円)	****%	-	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由	
配分機関名				公募名	
事業名・公募区分等 (研究期間)				研究開発課題名	
研究代表者/研究 分担者	****千円 (****千円)	****%	-	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由	
配分機関名				公募名	
事業名・公募区分等 (研究期間)				研究開発課題名	
研究代表者/研究 分担者	****千円 (****千円)	****%	-	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由	
その他業務・活動のエフォート		****%	エフォート率合計		

💡 ポイント

- 「研究組織」に記載の全参画者について記入が必要です。(本応募課題)は全員に該当します。
- e-Radに登録した内容と同じ内容を入力してください。不一致の場合は、審査の過程で確認を行います。
- エフォート率の合計が100%を超過する場合は、審査の過程で確認を行います。

📋 【重要】競争的研究費の不合理な重複及び過度な集中の排除について 公募要領 p.21、22、29

競争的研究費の不合理な重複及び過度の集中を排除するため、研究開始時点で受けている(応募中・応募予定のものも含む)国の競争的研究費制度やその他の研究助成等について、本応募課題との相違点を、明確に記入してください。相違点が不明な場合は、審査の過程で確認を行います。

お問合せ先

環境研究総合推進費 全般についてのお問合せはこちら

(独) 環境再生保全機構 環境研究総合推進部 研究推進課

メールアドレス（代表）：[suishinhi-koubo\[AT\]erca.go.jp](mailto:suishinhi-koubo[AT]erca.go.jp)

※ [AT] を@ に変えてください

お問合せの際は・・・

メールタイトルの先頭に【**公募問合せ**】と記載してご連絡ください。